

## 地域における公共交通ネットワークについて

地域における公共交通ネットワークについて、これまでの経緯及び検討状況等を以下のとおり報告する。

### 1 背景と目的

交通は、区民の自立した日常生活・社会生活の確保、活発な地域間交流や円滑な物流等を実現し、生活の安定向上と経済の健全な発展を図るための社会的な基盤である。様々な交通がある中、とりわけ鉄道や路線バス等の公共交通は、区民にとって必要性が高いものとなっている。

中野区においては、区内全域に鉄道や路線バス等による公共交通ネットワークが形成されているが、地形や道路幅員が狭いなどの様々な要因により、鉄道や路線バス等による公共交通ネットワークの構築が難しく、高齢者にとって鉄道駅やバス停留所までの距離が遠い地域が存在している。これらの地域には、平成30年度に区が実施した「区民移動実態把握に関するアンケート調査」においても交通手段の満足度が他の地域と比較して低いエリアもある。(別紙参照)

このため、区は、こうした地域における交通に関する需要を的確に把握し、公共交通ネットワークの構築の可能性を検証することを目的として、「若宮・大和町エリア」をモデル地域に選定し令和4年度より実証運行を実施している。

### 2 経緯

平成30年度	区民移動実態把握に関するアンケート調査の実施
平成31年度	地域における公共交通に関する調査・検討の実施
令和2年度	若宮・大和町地域での実証運行を見込んだが、新型コロナウイルス感染症の影響により執行見送り(他自治体での状況調査、交通事業者へのヒアリング等を実施)
令和3年度	令和4年度実証運行に向けた調査・検討の実施(地域勉強会の開催、地域要望案の作成) 事業者公募(運行計画の提案)
令和4年 7月	運行計画に関する中野区交通政策推進協議会(条例設置) における関係者協議
10月	令和4年度実証運行の開始

令和5年	1月	中間評価（評価基準、検証フローの提案） ※運行計画の内容を見直した上で、令和5年度に再度実証運行する方針を確認
	3月末	令和4年度実証運行の終了
	4月～5月	地域勉強会における運行計画の見直し検討 関係者調整等
	6月	令和5年度運行計画案の作成 中野区交通政策推進協議会において関係者協議

### 3 今後の進め方

令和5年度は、令和4年度実証運行の検証及び評価結果をもとに、地域勉強会での意見や中野区交通政策推進協議会における関係者協議を踏まえ、運行計画を作成したうえで実証運行を実施する。

また、実証運行期間中は、利用者アンケートや住民アンケートを実施した上で利用実績等により分析・検証を行い、継続や見直し等に関する判断を行いながら取組を進めていく。

高齢者にとって、鉄道駅やバス停留所までの距離が遠い地域  
及び現在の交通手段の満足度

「高齢者にとって、鉄道駅やバス停留所までの距離が遠い地域」を駅から250mまたはバス停から250mの圏外とすると下図のとおりとなる。特に、若宮・大和町エリアは現在の交通手段の満足度が低くなっている。

